

## ブルームバーグ日本統括責任者に聞く 指数品ぞろえ、多資産に対応 投資家に広い選択肢提供

債券インデックスなどを提供しているブルームバーグの日本統括責任者ノーマン・トゥエイボーム氏に同社のビジネス展開などについて話を聞いた。ブルームバーグは2016年にパークレイズ・リスク・アナリティクス・アンド・インデックス・ソリューションズ



を買収し、債券インデックスを提供してきた。買収から5年が経過したことで、「ブルームバーグ・パークレイズ・インデックス」として提供していた債券インデックスの名称を21年8月から「ブルームバーグ債券インデックス」に変更して提供している。

——ブルームバーグの債券インデックスの中国国債組み入れは、10月から始めたFTSE世界国債インデックスに大幅に先行した。

「まず話しておきたいのは、投資家にとってインデックスは、投資機会を捉える1つのツールだ。インデックスの役割は、客観的な評価のある特定のマーケットセグメントや資産クラスに対して提供するものだと考えている。中国債をインデックスに加える際、ベンチマークとしてインデックスを使う投資家と、中国の規制当局の両者を集めて、中国をインデックスに含めるにはどんな条件を満たさなくてはならないか、投資家がアクセスできるようにするためにどうしたらいいかを検討した。我々の役割はその2つをつなげることだった。組み入れは19年4月から20年の11月まで20カ月かけた」

「インデックスの提供者としての我々の役割は、投資家がどの市場に投資をすべきか否かの判断をすることではなく、投資家に対する選択肢の提供だ。中国のみならず、どんな市場でも投資家がエクスポージャーを持ちたくなるようなインデックスをつくり上げることもできる。インデックスのカスタマイズも大切だと考えている」

——ESG（環境・社会・企業統治）関連の指数ビジネスは今後どう展開していくか。

「債券のESGでは、早くから活動している。我々が5年前にパークレイズのインデックスを買収した当時から、債券のESGのインデックスを提供していた。ESG

の概念を使った投資家はどんどん増えている。ブルームバーグ端末上のESG関連の機能に加え、ESG指数の種類なども拡大している。サードパーティーのベンダー、例えばESGのスコアプロバイダーなどと共同で、彼らのスコアを組み込んでESGインデックスを算出している。また独自のESGスコアも拡充している。ブルームバーグのESG指数は債券では投資適格、ハイイールド、新興国などに広がっており、株式でもESGの指数を構築している。投資家により広い選択肢を提供したい」

——インデックスビジネスの潮流は。

「いくつかある。まず1点目、数年前から銀行などがインデックスを売却し始めている。ブルームバーグはいち早くパークレイズのインデックスビジネスを買った。他社でも同様の動きが見られている。2点目として、今後クライアントに対してマルチアセットの機能を提供していきたい。すなわちクライアントに対してワンストップで完了するサービスを提供することだ。ブルームバーグは最初に強力な債券インデックスを開発したが、もっと機能を他分野にも拡充していきたい。グローバル株式では先進国から新興国にも対象を広げていて、ESGやテーマ型指数も拡充中だ。コモディティインデックスでは既にリーダー的な立場だ」

「3点目としてインデックスは投資家にとって、分析ツールであると考えている。我々はそのツールを投資家に提供し、自分たちがベンチマークに対してどういったパフォーマンスになっているのかを分析する1つのツールとして考えてもらいたい。利用者はブルームバーグ端末を活用することで、簡単にパフォーマンス分析できる」

「さらに暗号通貨についても、インデックスを提供している。ロンドン銀行間取引金利（LIBOR）からの乗り換えについては、ブルームバーグはLIBORに代わる選択肢として、ブルームバーグ・ショートターム・バンク・イールド・インデックスを提供している。上場投資信託（ETF）の利用もどんどん増えており、ETFのマネジャーに対して、参照できるベンチマークとしての提供をさらに拡大していきたい」